

国際ロータリー第2840地区 2016-2017年度



ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RID2840 / GUNMA JAPAN / 2016-2017

To Rotary club presidents and secretaries

THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD



ROTARY
SERVING
HUMANITY

ロータリー財団月間



2016.11.1
Vol.5



目次

平成 28 年 11 月号

ガバナーメッセージ	1
ロータリー財団月間に因んで	2
R L I セミナー パート I	4
R Y L A 研修会	5
米山梅吉の横顔	7
ハイライトよねやま 199	9
新入会員紹介	11
文庫通信	13
出席報告	14
ガバナー事務所よりお願い	15

お知らせ

2016-17 年度 地区補助金申請用 (2017-2018 年度実施) データ他、各種地区財団データを 2840 地区ガバナーホームページに掲載しました。

『ロータリー財団月間』に因んで

2016年11月1日

国際ロータリー第2840地区
2016-2017年度 ガバナー 豊川一男

ロータリー財団は「国際ロータリーのロータリー財団」が正式な名称です。ロータリー財団（The Rotary Foundation→TRF）は、国際ロータリー第6代目会長 アーチ・クランフによって提唱されました。

アーチ・クランフは、クリーブランドロータリークラブの1912~1913年度会長を務めました。友人達は彼の事を、次のように評しています。「寝ても覚めてもロータリー」の人間であると。アーチ・クランフは「ロータリーの将来を気に掛け」クラブ会長として最後のスピーチで「ロータリーが基金を作り、何かしようではないか」そのための「非常時基金」の設立を提唱いたしました。

その4年後1916~1917年国際ロータリー第6代目会長に就任、ジョージア州「アトランタ大会」で「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」ロータリー財団の設立を次のように提案しました。

1928年「ミネアポリス国際大会」で、この基金は「ロータリー財団」と改称され、管理委員長に就任したアーチ・クランフは、たくさんの名言を残して「ロータリー財団の父」と讃えられ、1951年6月3日82歳で逝去しました。

さて、アーチ・クランフは「何故」ロータリー財団を提唱したのでしょうか。彼は、ロータリーの永遠を願ってロータリーを不滅にする手段として基金の構想をし、その礎を築きました。

TRFは1917年創立以来今日2017年までの100年間に「様々な良いことを」してきました、その中でも「ポリオ・プラス」プログラムはこの地球上から、「ポリオ・ウイルスを撲滅する」途方もないプログラムに挑戦し、あと少しのところまで来ています。

ポリオ撲滅・人類が幸せになるには、ロータリー財団100周年記念を祝い地区内46クラブのロータリアンが成し遂げてきた多くの功績を祝う100周年行事を開催し、次の100年に向かって発信しましょう。

私の大好きな アーチ・クランフ の名言

「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に碑銘を刻んだとしても、やがて崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが心の中に碑銘を刻むなら、そして、ロータリー精神と神をおそれ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、我々が刻んだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーは不滅のものとするだろう。」

ロータリアン紙 1929年4月

2016-2017 年度は「ロータリー財団 100 周年」 そして 11 月は「ロータリー財団月間」です

ロータリー財団は、国際理解、親善、世界平和を推進するクラブと地区の支援において大きな成果を収めてきております。

2016-2017 年度は、「ロータリー財団 100 周年」の年として世界中のロータリアンと共にクラブと地区が 100 周年を祝い記念すべきプロジェクトを実施することを掲げております。

豊川ガバナー年度の目標は

- 1 ロータリー財団『未来の夢計画』を進化させ財団寄付目標を達成する。
- 2 年次基金寄付、1 人当たり 150 ドル以上。
- 3 ポリオ・プラス、1 人当たり 30 ドル以上。
- 4 ロータリー財団 100 周年を祝う記念事業の実施。
- 5 全クラブが活用と質を高め地区補助金対象事業を申請する。
- 6 3 クラブ以上、グローバル補助金対象事業を申請する。

としております。

前年 (2015-2016) 生方ガバナー年度に於いては、年次基金寄付 360,990.93 ドル (1 人当たり 179.15 ドル) ポリオ・プラスは 1 人当たりの目標、20 ドルでしたが 45,076.78 ドル (1 人当たり 22.37 ドル) といういずれも好実績となりました。しかしながら、年次基金寄付における 1 人当たり 150 ドル未達成クラブが 19 クラブ、ポリオに於いては、16 クラブ未達成の結果となりました。

今年度 (豊川ガバナー年度) では、46 クラブ全クラブ目標達成できるようお願い致して来ております。2840 地区 DDF (地区活動資金) 活用、地区補助金事業に於いては、2015-2016 (生方ガバナー年度) に申請承認された 43 クラブ、41 プロジェクトが今年度 7 月より各クラブ実施されており、今年度も各クラブ準備を進めておられることと思いますが 46 クラブ、全クラブからの申請をお願いしております。

グローバル補助金事業については、2015-2016 年度、申請 3 件、地区承認を得て、現在プロジェクトの進行実施中となっており、中でも 2840 地区初めてのグローバル補助金応募者が奨学金対象留学生に合格、9 月にイギリス、バーミンガム大学に向け出発いたしました。

『未来の夢計画』がスタートして以来、当地区のグローバル補助金申請は 9 件の地区承認を受け、5 件が終了、3 件が進行中、1 件が書類審査待ちとなっております。



THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

グローバル補助金使用については、クラブ申請のほか、2840 地区 DDF (地区活動資金) から 2013-2014 年度は、ポリオ・プラス基金に 40,000 ドル、2014-15 年度は、平和センター基金に 50,000 ドル、2015-2016 年度は、ポリオ・プラス基金に 40,000 ドル、計 130,000 ドル拠出しております。

又、地区セミナーに於いては、8 月 20 日 (土)、231 名の参加登録者を頂き『2840 地区ロータリー財団セミナー』を開催、地区補助金、グローバル補助金に対して、新たに地区規定を設定し「2840 地区ロータリー財団ハンドブック (ダイジェスト版)」2016-2017 年度版を発行、全 46 クラブに配布させていただきました。

11 月 12 日 (土) には、『ロータリー財団補助金管理セミナー』の開催、各クラブとも、地区補助金、グローバル補助金申請には出席参加必須のセミナーとなっております。

これからも会員皆様におかれましては、『私たちのロータリー財団』として財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上に努め、ロータリーの人道的奉仕を高めて頂きたいと願っております。



RLIセミナー Part I

国際ロータリー第2840地区 2016-2017年度

地区副幹事 古市 和男 (藤岡南RC)

去る、9月18日(日曜日)に、RLIセミナーが、前橋問屋町センター会館にて9:30分~17:00まで開催されました。参加対象者は、会長エレクト、次年度幹事の皆さまなので、会場は、緊張が漂う空気が流れていました。まずは、開会の挨拶として、豊川一男ガバナーからRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)の目的についてお話し頂いたことで、参加者全員のベクトルを合わせることができ、素晴らしいスタートができました。続いて、本田博己地区研修リーダーから、これから学ぶロータリーのリーダーシップについて詳しくお話しを頂き、そして、本日のプログラムの説明をして、セミナーが開始されました。

セミナーは、リーダーシップの研究をする上で、細かなプログラムが組まれていて、セッション6項目、各部屋に分かれて、進んで行きました。各セッションには、ディスカッションリーダーの皆さまが、ファシリテーターとして、参加者の皆さまの意見を引き出していました。最初の方は、参加者の皆さまも緊張していた様で意見が出ないこともありましたが、ディスカッションリーダーの方の上手な進行で、ロータリーに対する自分自身の想いや、リーダーシップのあり方、今後どのように行動をすべきかなど、徐々に、参加者皆さま意見が出てきて、とても良い意見交換の場となり、有意義なセミナーとなりました。

今後のRLIの日程

パートII: 10月30日(日) パートIII: 12月11日(日)





RYLA研修会

共に学ぼう、共に語ろう、今を未来に、in 星降る山紫水明の地利根沼田

地区副幹事 古市 和男 (藤岡南RC)

去る、10月1日、2日に亘り第16回RYLA研修会が、川場文化会館・世田谷区民健康村なかのビレッジで行われました。研修会のプログラムは、沼田中央クラブの皆さまが中心となり、進んでいきました。まず初めに、豊川ガバナーから開催にあたり、RYLAの受講生の皆さまに、国際ロータリー第2840地区のみならず群馬県、日本、そして世界へ羽ばたき「人類に奉仕するロータリー」を実践して、後に様々な地域でリーダーとして活躍することのできる人材になって欲しいとのお挨拶を頂き、地元である川場村村長外山京太郎様からご挨拶、田中ガバナーエレクトからリーダーシップについてお話しがあり、主催者挨拶で、樋口RYLA委員長から、今回のRYLA研修の詳細を話して頂き、そして、ホストクラブである、沼田中央クラブの永井会長から、歓迎のご挨拶を頂き、RYLA研修会がスタート致しました。

まずは、テーマに因んだ基調講演を、公益財団法人群馬県環境検査事業団の小林幸夫様から、「水環境について」お話し頂きました。そして、会場をなかのビレッジに移し、グループに分かれてリーダーシップについて語り合いました。続いて、今回RYLA研修会のメインプログラムである、模擬国連についての事前勉強会を行った後、ザスパ草津群馬監督服部浩紀様から「サッカーがくれた宝物」をテーマとした基調講演をして頂き、引き続き、会場を移してザスパ草津群馬の選手3名にご協力を頂き、サッカーボールを使って約2時間程度体を動かしました。体と心の緊張が程よく解れて、コミュニケーションが取れるようになり、良い雰囲気になっていきました。夜には、地元ならではの星空観測、そして、どろんこ教室と、参加者が楽しめる設えが用意しており、大変充実した一日目を終了することができました。





RYLA研修会

共に学ぼう、共に語ろう、今を未来に、in 星降る山紫水明の地利根沼田

地区副幹事 古市 和男 (藤岡南RC)

二日目は、ラジオ体操をして周辺の散策に出かけ、清々しスタートを切りました。そして、今回のメインプログラムである模擬国連が開会されました。参加者の皆さんが、18カ国に分かれて国連会議を実践するセミナーであり、問題分析能力・論理的思考力、多角的視点・戦略的思考、そして、協調性・相互理解を養える素晴らしい模擬国連となり、有意義なセミナーとなりました。そして、閉講式では、研修生代表として、ローターアクト地区副代表の清水大君から感謝の言葉を頂き、無事に2日に亘る全プログラムが終了しました。

最後に、2日間に亘り何事もなく無事にRYLA研修会が終えられた事は、ホストクラブの沼田中央クラブ永井会長をはじめ、小曾根RYLA実行委員長、そして、RYLA委員の皆さまが1年かけて準備を進めて来られた賜物であると感じております。本当にホストクラブの皆さまに心より感謝を申し上げますと共に、今回関わって頂いた皆さまに重ねて御礼申し上げ、RYLA研修会の報告とさせていただきます。



米山梅吉記念館便り

シリーズ① 米山梅吉の横顔

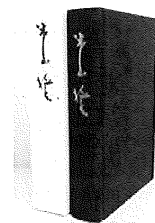
米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で矚目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉 15.6歳頃。
壁に半紙で「有一志」の文字。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文藻も掲載しています。

秋季例祭 | 平成28年9月24日(土) 午後2時～
ご案内 | 米山梅吉記念館

式典/講演会
登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉記念館便り

シリーズ② 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、渡米資金を蓄える意図を持ち17歳で東京府吏員に採用されます。その後青山の東京英和学校入学、米人ニコール・バックに英語を学び、明治20年に銀座の福音会英語学校へ入学。正式に米山家へ入籍し米山姓を名乗り、年末渡米しました。19歳でした。

渡米して桑港福音会寄宿舎に寄寓し、青山学院院長・本田庸一と出会います。部屋に押し掛け薫陶を受けていた様子ですが、ある時先生はしきりに「巧遅拙速」と、米山に見せるともなく書いていました。それに気付いた米山は自分の性格を察して「功を急ぐな」と戒められたと感じ入り、一生の座右の銘としました。



米山梅吉、在米当時、21歳頃

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。

ポール・ハリスお手植え月桂樹2世が記念館に植えられています。ポール・ハリスが昭和10年に来日したおり、帝国ホテル前庭にお手植えした月桂樹から育苗した2世が、記念館に植えられました。さらにこの木からの3世を現在生育しています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉記念館便り

シリーズ③ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、在米8年、皿洗いや学僕で学資を稼ぎ、加州のベルモント・アカデミー、オハイオのウェスレアン大学、さらにニューヨークのシラキュース大学に転じました。ウェスレアン大学からマスター・オブ・アーツ称号を得ています。

明治28年に帰朝、文藻に秀で国の将来も見据えていた若者らしく、職業は新聞記者を希望しましたが、米山は結婚し、翌年長女愛子を得ていましたので生活を考え、日本鉄道会社に就職。ここは技術畑が強かったために、畏友藤田四郎に相談。藤田の岳父は井上馨侯という財界の雄、井上の口添えで明治30年10月29歳の時、三井銀行に入行しました。



三井銀行本店営業部勤務から大阪支店長代理時代(明治33年頃・33歳頃)

米山梅吉記念館のホームページを新しくします。

2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルし、米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させる予定です。ご期待ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりやうかがい上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。





ハイライトよねやま 199

2016年10月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会



10月は米山月間です。

もともと1975年に、米山奨学事業への理解を深めていただくため、梅吉翁が逝去した日を含む4月22～28日を「米山週間」と決定したことが始まりです。その後、ロータリー雑誌週間と重なっていたことや、事業報告書を各クラブに送付する時期の関係から、米山週間は10月に移されました。1983年度からはロータリーの週間制度が「月間」となり、現在に至ります。

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて2.1%減（普通寄付金0.6%増、特別寄付金5.5%減）、約800万円の減少となりました。前年度の寄付額が高かったため、前年度比は減少となっておりますが、寄付累計額としては直近10年間のうち、3番目に高い金額で、依然好調を保っています。皆様からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。10月は米山月間です。これからも引き続き、ご支援賜りますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

坂本ドネイション・ファウンデーションとの調印式

10月3日に坂本ドネイション・ファウンデーション（株）の株式譲渡に伴う（公財）ロータリー米山記念奨学会との調印式が行われました。代表取締役の坂本精志氏、取締役の坂本春代氏、事務局長の坂本精一郎氏、当会からは小沢理事長はじめ常務理事会の役員が出席しました。

坂本精志氏（名古屋名東RC）は2000年4月のベトナム出身の米山奨学生をはじめ、これまでに米山奨学生3人のカウンセラーをされ、一人でも多くの留学生を支援しようと2008年には当会に1億円の寄付をされ、現在までに第1,166回の米山功労者となりました。さらに米山記念奨学事業に貢献したいとの思いから、企業活動を通じて公益事業等を営む団体・個人を支援し、社会に貢献することを企業理念とする坂本ドネイション・ファウンデーション（株）を2011年に設立し、当会への法人寄付を続けて来られました。このたび、株式譲渡のお話をいただき、坂本氏のご厚意に応えようと当会では常務理事会、理事会、評議員会での審議を経て、定款変更等条件を整え受領することとなりました。調印式では小沢理事長から坂本精志氏と坂本春代氏のこれまでのご奉仕に感謝して、感謝の盾と感謝状を贈呈させていただきました。（事務局長 岩邊俊久）



左から坂本精志氏、春代令夫人、小沢理事長

【訃報】 副理事長 杉谷卓紀氏（第2720地区）逝去

副理事長の杉谷卓紀氏が10月11日にご逝去されました。杉谷氏は2007-08年度および2008-09年度国際ロータリー第2720地区ガバナーで、2014-16年度RI理事を務められました。当会においては評議員、学務・学友委員としてのご奉仕を経て、今年9月から副理事長に就任されたばかりでした。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

マレーシア米山学友会が設立されました

9月12日、マレーシア・ペナン州で、米山学友会の創立総会が開かれ、学友21人が出席しました。今年5月のソウル国際大会への参加を機に、急速に結束を強めたマレーシアの学友たちが学友会創立に向けて動きだし、早期に実現したものです。創立会長に就任した黄麗容さん(2001-04/横浜泉RC)は、「日本在住の学友にも声をかけ、マレーシアと日本の両方で、地域の環境保護や教育に貢献できる活動を計画しています。参加する学友や後輩たちの誇りになるよう頑張りたい」と抱負を語りました。今後、12月の当会常務理事会での承認を経て、正式に海外8番目の米山学友会となります。来年2月18日には設立記念パーティを開催予定で、日本からも多くのお客様をお迎えしたいと、学友会で準備を進めています。



上海米山学友会が小学校を支援



上海米山学友会が9月4日、甘粛省の小学校へ2回目の奉仕活動を行いました。

同学友会が昨年から支援しているのは、甘粛省臨洮県(りんとうけん)の山中にある貧しい小学校。この地へ県長として赴任し2年前に亡くなった米山学友、柴生芳さん(享年45歳、2001-02/神戸中RC)を記念して始められたものです。

昨年は柴さんの名を冠した図書室を寄贈、今回は、劉京榕 会長(2000-01/八日市南RC)と周峰 副幹事長(2009-10/名古屋和合RC)が2日間かけて現地訪問し、パソコン2台を寄贈しました。これらはすべて学友会メンバーがお金を出し合ったものです。

この小学校には就学前児童を含めて92人が通っています。2年連続で訪問した劉会長は、「学ぶ環境を少しでも整備し、故郷の未来をつくる人材に育ってほしい」と語り、周さんは「子どもたちの笑顔を見た瞬間、すべての苦勞が吹き飛びました。来年はもっと大勢の学友と一緒に訪れたい」と、話してくださいました。



2016年に開催される海外米山学友会総会のご案内

韓国 2016年**11月19日(土)** 17:00~20:30

会場：シェラトン・ソウル・パレス江南ホテル Sheraton Seoul Palace Gangnam Hotel, Dynasty Hall(ソウル特別市瑞草区 Seocho-gu, Seoul)

申込：eメール dreaming0628@gmail.com / TEL +82-10-9218-1407(会員管理担当：イビョンウ)

台湾 2016年**12月17日(土)** 受付13:30~(総会14:00~、懇親会17:30~)

会場：サンライズゴルフクラブ(桃園市楊梅区 http://www.sunrise-golf.com.tw/sunrise_jp/)

申込：日本ロータリアン→当会事務局 武本へ。学友・奨学生→rotary_yoneyama@yahoo.com.tw



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 柴崎 潔
クラブ 前橋北
入会日 2016年7月11日
職業分類 銀行
勤務先 (株) 東和銀行
役職 常務執行役
推薦者 手島 武雄



氏名 腰塚 富夫
クラブ 桐生
入会日 2016年8月1日
職業分類 建設業
勤務先 (株) サン建設
役職 代表取締役
推薦者 岸田 信克



氏名 久保田信一郎
クラブ 桐生
入会日 2016年8月1日
職業分類 私立学校
勤務先 学校法人桐丘学園
役職 桐生第一高等学校
校長
推薦者 園田 誠



氏名 野島輝彦
クラブ 前橋北
入会日 2016年8月8日
職業分類 解体業
勤務先 野島工業(株)
役職 代表取締役
推薦者 國岡 充朗



氏名 本島 明文
クラブ 高崎東
入会日 2016年9月1日
職業分類 人材派遣
勤務先 株式会社 Connect
役職 代表取締役社長
推薦者 大澤 照義



氏名 中村ひろみ
クラブ 高崎
入会日 2016年9月14日
職業分類 室内装飾
勤務先 有限会社中村材木店
役職 代表取締役
推薦者 小泉 裕美



氏名 宇田 榮二
クラブ 渋川
入会日 2016年9月15日
職業分類 電気工事
勤務先 (有) テクノ
役職 代表取締役社長
推薦者 板倉 正和



氏名 松本 秀吉
クラブ 高崎東
入会日 2016年9月15日
職業分類 生命保険
勤務先 日本生命保険相互会社
役職 営業部長
推薦者 高橋 永一



氏名 萩原 秀長
クラブ 高崎南
入会日 2016年9月20日
職業分類 自由業・サービス業・
勤務先 情報 社会保険労務士
萩原秀長社会保険労務士事務所
役職 代表
推薦者 永崎雅信 竹内一晋



氏名 荻野 克徳
クラブ 桐生
入会日 2016年9月26日
職業分類 銀行
勤務先 (株) 群馬銀行桐生支店
役職 支店長
推薦者 養田 隆



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 丸山 勝成
クラブ 前橋中央
入会日 2016年9月30日
職業分類 金融
勤務先 プルデンシャル生命保険
(株)高崎支社
役職 営業部長
推薦者 高岸 博幸



氏名 竹内三千彦
クラブ 前橋中央
入会日 2016年9月30年
職業分類 運送業
勤務先 (有)トラスト
役職 代表取締役
推薦者 島 安男



氏名 徐 信基
クラブ 前橋南
入会日 2016年10月5日
職業分類 店舗・広告デザイン
広告代理業
勤務先 (有)オフィスジョナ
役職 代表取締役
推薦者 狩野 俊嗣



氏名 佐藤 哲夫
クラブ 太田
入会日 2016年10月6日
職業分類 銀行
勤務先 (株)東和銀行太田支店
役職 支店長
推薦者 松本 博



氏名 藤井 政宏
クラブ 富岡
入会日 2016年10月12日
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)群馬銀行富岡支店
役職 支店長
推薦者 松井 誠



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(5)

- ◎「ロータリーに関する十四の断章」 松井幸雄 東京千種会 1973 147p
- ◎「ロータリーの道しるべ」 長崎南 R.C. 1987 128p
- ◎「新会員のための『ロータリー情報』」 東京江東 R.C. 1988 20p
- ◎「ロータリー・チャンネル」 長崎南 R.C. 1992 44p
- ◎「ロータリー情報 広報 ABC」〔油木恒久〕 朝霞 R.C. 2000 93p
- ◎「ロータリーへのご案内 2001年版」 長岡成郎 2001 43p
- ◎「ようこそ・ロータリーⅡ ロータリーが10倍楽しくなる」 青森北東 R.C.〔2005〕 24p
- ◎「これだけは知っておきたいロータリーの基礎知識」 浦和 R.C. 2010 74p
- ◎「ロータリーの日常の知識」 三木 明訳 2010 83p
- ◎「ロータリーの心と実践 2012年改訂版」 D.2660 2012 103P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

2016年8月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,058	2,087	2,102	15	128	81.01

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	78.12	118	116	116	0	10
	前橋西	4	90.98	56	59	60	1	5
	前橋東	4	90.25	60	60	60	0	5
	前橋北	3	89.00	69	73	75	2	4
	前橋南	4	97.14	32	35	35	0	1
	前橋中央	4	76.04	28	27	29	2	7
	合計		86.92	363	370	375	5	32
第2分区A	桐生	3	74.63	67	69	70	1	6
	桐生南	4	82.29	25	24	24	0	1
	桐生西	5	92.51	61	61	61	0	4
	桐生中央	4	63.64	22	22	22	0	3
	桐生赤城	4	86.58	44	45	45	0	8
	合計		79.93	219	221	222	1	22
第2分区B	伊勢崎	4	90.89	79	81	81	0	4
	群馬境	4	88.95	21	23	24	1	1
	伊勢崎中央	4	81.75	80	82	83	1	2
	伊勢崎南	3	88.09	28	28	28	0	1
	伊勢崎東	3	84.38	31	32	32	0	2
	合計		86.81	239	246	248	2	10
第3分区	高崎	3	84.62	117	117	118	1	10
	高崎南	4	70.37	65	67	68	1	7
	高崎北	4	64.37	68	68	67	-1	0
	高崎東	4	78.95	38	38	40	2	1
	高崎シンフォニー	4	78.57	42	42	42	0	4
	高崎セントラル	4	65.73	37	37	37	0	0
	合計		73.77	367	369	372	3	22

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	91.32	71	72	72	0	3
	太田西	4	84.65	17	17	17	0	2
	太田南	4	86.30	43	44	47	3	1
	新田	2	97.21	17	18	18	0	0
	太田中央	5	82.81	54	56	57	1	3
	合計		88.46	202	207	211	4	9
第4分区B	館林	5	85.20	50	50	50	0	2
	大泉	4	75.57	33	33	33	0	3
	館林西	4	73.86	22	22	22	0	1
	館林東	4	69.79	24	24	24	0	3
	館林ミレニアム	4	93.91	26	27	27	0	0
合計		79.67	155	156	156	0	9	
第5分区	渋川	5	95.02	58	59	58	-1	5
	沼田	4	70.28	67	71	71	0	1
	草津	3	56.14	19	19	19	0	1
	中之条	4	77.53	21	20	21	1	1
	沼田中央	4	75.00	59	57	57	0	4
	渋川みどり	4	82.98	38	39	39	0	2
	合計		76.16	262	265	265	0	14
第6分区	富岡	4	90.83	46	46	46	0	4
	藤岡	4	83.50	52	53	53	0	3
	安中	4	60.23	44	43	43	0	0
	藤岡北	4	91.70	16	17	17	0	1
	富岡中央	4	87.26	39	39	39	0	1
	碓氷安中	4	75.00	10	10	10	0	0
	藤岡南	4	75.00	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	67.59	27	27	27	0	0
	合計		78.89	251	253	253	0	10

ガバナー月信に関して

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 toyokawa@rid2840.jp まで送信してください。写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくをお願いいたします。

表紙写真解説 「八幡八幡宮唐銅燈籠」

所在地 高崎市八幡町665-1

総高 5.01mある一対の唐銅製の燈籠で、八幡八幡宮の大修復事業完遂記念物として、大慶應3年(1867年)に奉納されました。大願主は高崎出身の糸繭商で横浜で活躍した野沢屋惣兵衛。燈籠には高崎、横浜の糸繭商人や養蚕関係者など寄付者の名が刻まれています。



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp